

令和 7 年度

年間授業計画

教科 社会

科目 政治経済

教科： 社会

科目： 政治経済

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：	1組 山田 周平	2組 小松 史彦	3組 双木 俊介	4組 藤野 貴弘				
使用教科書：	実教出版 政治経済							

教科 社会 の目標：

【知識及び技能】	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う
【思考力、判断力、表現力等】	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手探りとなる概念や理論について理解している。・諸資料から、情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。

科目 政治経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現を視野に、科学技術者に必要な現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。	多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元 1 青年期と社会参画	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	青年期と社会参画について理解する。	青年期と社会参画	生涯における青年期の意義の理解を通して、自己形成の課題を追求する。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	生涯における青年期の意義の理解を通して、自己形成の課題を追求する。	実教出版	生涯における青年期の意義の理解を通して、自己形成の課題を追求する。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	青年期について、社会参画の重要性を認識し積極的に活用しようとする態度等を身に付ける。	あり	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。				
	単元 2 青年期と社会参画	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	生涯における青年期の意義の理解を通して、自己形成の課題を追求する。	青年期と社会参画	生涯における青年期の意義の理解を通して、自己形成の課題を追求する。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	キャリア形成と労働基準法について理解する。	実教出版	キャリア形成と労働基準法について理解する。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。	あり	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。				
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説						
	単元 3 社会の基本原則と憲法の考え方	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	近代立憲主義の成立について理解する。	社会の基本原則と憲法の考え方	近代立憲主義の成立について理解する。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	近代立憲主義の成立について理解する。	実教出版	近代立憲主義の成立について理解する。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。	あり	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。				
	単元 4 近代立憲主義と政治の基本	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	近代立憲主義の成立について理解する。	近代立憲主義と政治の基本	近代立憲主義の成立について理解する。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	近代立憲主義の成立について理解する。	実教出版	近代立憲主義の成立について理解する。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。	あり	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。				
	定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説						

令和 7 年度

年間授業計画

教科 社会

科目 政治経済

教科： 社会

科目： 政治経済

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年

教科担当者：	1組 山田 周平	2組 小松 史彦	3組 双木 俊介	4組 藤野 貴弘				
使用教科書：	実教出版 政治経済							

教科 社会 の目標：

【知識及び技能】	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う
【思考力、判断力、表現力等】	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。・諸資料から、情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。

科目 政治経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現を視野に、科学技術者に必要な現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。	多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	単元 5 社会の基本原理と憲法の考え方	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	近代市民革命と近代立憲主義の展開について理解する。	社会の基本原理と憲法の考え方	近代市民革命と近代立憲主義の展開について理解する。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	近代市民革命と近代立憲主義の展開について理解する。	実教出版	近代市民革命と近代立憲主義の展開について理解する。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。	あり	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。				
	単元 6 社会の基本原理と憲法の考え方	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	近代市民革命と近代立憲主義の展開について理解する。	社会の基本原理と憲法の考え方	近代市民革命と近代立憲主義の展開について理解する。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	日本国憲法の制定と、三大原理について理解する。	実教出版	日本国憲法の制定と、三大原理について理解する。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。	あり	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。				
	定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説						
	単元 7 社会の基本原理と憲法の考え方	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	日本国憲法の制定と、三大原理について理解する。	社会の基本原理と憲法の考え方	日本国憲法の制定と、三大原理について理解する。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	平等権について理解する。	実教出版	平等権について理解する。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。	あり	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。				
	単元 8 社会の基本原理と憲法の考え方	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	平等権について理解する。	社会の基本原理と憲法の考え方	平等権について理解する。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	自由権について理解する。	実教出版	自由権について理解する。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。	あり	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。				
	定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説						

令和7年度年間授業計画教科社会科目政治経済

教科：社会科目：政治経済単位数：2単位

対象学年組：第3学年

教科担当者：	1組 山田 周平	2組 小松 史彦	3組 双木 俊介	4組 藤野 貴弘				
使用教科書：	実教出版 政治経済							

教科	社会	の目標：
【知識及び技能】	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う	
【思考力、判断力、表現力等】	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。・諸資料から、情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	

科目	政治経済	の目標：	
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	よりよい社会の実現を視野に、科学技術者に必要な現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。	多面的・多角的な考察や深い理解を通して 涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う 公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	単元9 社会の基本原理と憲法の考え方	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	自由権について理解する。	社会の基本原理と憲法の考え方	自由権について理解する。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	社会権について理解する。	実教出版	社会権について理解する。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。	あり	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。				
	単元10 私たちと経済	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	基本的な経済の考え方、三つの主体と循環について理解する。	私たちと経済	基本的な経済の考え方、三つの主体と循環について理解する。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】		○		6
	需要と供給、価格の決まり方、市場の失敗について理解する。	実教出版	需要と供給、価格の決まり方、市場の失敗について理解する。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。	あり	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。				
	単元11 私たちと経済	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	需要と供給、価格の決まり方、市場の失敗について理解する。	私たちと経済	需要と供給、価格の決まり方、市場の失敗について理解する。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○		○	6
	株式会社と企業の責任について理解する。	実教出版	株式会社と企業の責任について理解する。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。	あり	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。				
	単元12 私たちと経済	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	株式会社と企業の責任について理解する。	私たちと経済	株式会社と企業の責任について理解する。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】		○		4
	日本銀行と金融政策、課題について理解する。	実教出版	日本銀行と金融政策、課題について理解する。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	市場経済について、財政の機能の重要性を認識し積極的に活用しようとする態度等を身に付ける。	あり	行動観察や小テスト、授業プリント、発言内容、考查などを総合的に評価する。				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説						